

研究実施のお知らせ

2023年07月02日 ver.1.0

研究課題名

非閉塞性腸管虚血の臨床的特徴と治療成績の検討

研究の対象となる方

2013年4月から2023年6月の間に島根大学医学部附属病院で非閉塞性腸管虚血と診断された方

研究の目的・意義

非閉塞性腸管虚血(non-occlusive mesenteric ischemia：以下、NOMI)は腸管虚血症の中で、欧米では20～30%、本邦では15～27%の頻度と報告され、致死率も56～79%と高く、予後不良な疾患であると言われています。これは疾患自体の重篤性に加えて、特徴的な症状に乏しいことなどによる診断の困難性と治療開始の遅れによるところが大きいとされています。当院はNOMIなどの急性腹症を専門領域とするacute care surgeonが24時間常駐しており、その診断や治療開始まで時間短縮に有利な診療体制を有しています。以上より当院におけるNOMIの治療成績は既報より改善されている可能性があり、本研究を計画しました。

当院のNOMIに対する現状を解析することで、適切な治療方法だけでなく、早期認知や早期治療介入を実践するための具体的な方策がわかる可能性があります。

研究の方法

本研究は過去の記録から、患者背景（年齢、性別、既往歴、手術歴）、手術前後採血データ、重症度、手術内容、集中治療室入室期間、術後合併症、転帰について解析する観察研究です。研究のために新たな検査や治療が発生することはありません。また、患者様への謝礼などありません。研究で用いる情報は、氏名、患者IDを削除した上で解析を行います。

研究の期間

2023年8月23日～2025年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 下条芳秀

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

下条芳秀

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2757